

別紙 訂正内容

OP78及びP85のベリマークSCについて、使用量(薬量)の記載に誤りがありました。

P78 訂正前

トマト

病害虫名	防除時期及び防除法	使用時期-本剤の使用回数	注意事項
コナジラミ類 (・タバコナジラミ ・オンツクナジラミ)	○育苗期～定植時 1 侵入防止のため0.4mm目の防虫ネットをハウスの開口部に設置する。 2 薬剤処理 スタークル粒剤 1g/株 アルバリン粒剤 育苗期:株元散布 1g/株 定植時:植穴土壌混和 2g/株 ベストガード粒剤 2g/株 育苗期:株元処理 2g/株 定植時:植穴処理土壌混和 2g/株 アベイル粒剤 2g/株 株元散布 プリロソク粒剤オメガ 2g/株 株元散布 ベリマークSC 25ml/株 400株当り10～20L灌注	育苗期-1 定植時-1 育苗期又は定植時-1 育苗期後半～定植当日-1 育苗期後半～定植時-1 育苗期後半～定植当日-1	1 タバココナジラミ(バイオタイプQ)は薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避ける。 2 エンストリップ、ツヤコパチEF30は野菜類(施設栽培)登録。 3 ペネビアOD、アベイル粒剤、プリロソク粒剤オメガ、ベリマークSCの総使用回数は4剤合わせて4回以内。 4 ファインセーブフロアブルはタバココナジラミ類(シルバーリーフコナジラミを含む)適用。



P78 訂正後

トマト

病害虫名	防除時期及び防除法	使用時期-本剤の使用回数	注意事項
コナジラミ類 (・タバコナジラミ ・オンツクナジラミ)	○育苗期～定植時 1 侵入防止のため0.4mm目の防虫ネットをハウスの開口部に設置する。 2 薬剤処理 スタークル粒剤 1g/株 アルバリン粒剤 育苗期:株元散布 1g/株 定植時:植穴土壌混和 2g/株 ベストガード粒剤 2g/株 育苗期:株元処理 2g/株 定植時:植穴処理土壌混和 2g/株 アベイル粒剤 2g/株 株元散布 プリロソク粒剤オメガ 2g/株 株元散布 ベリマークSC 25ml/400株 400株当り10～20L灌注	育苗期-1 定植時-1 育苗期又は定植時-1 育苗期後半～定植当日-1 育苗期後半～定植時-1 育苗期後半～定植当日-1	1 タバココナジラミ(バイオタイプQ)は薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避ける。 2 エンストリップ、ツヤコパチEF30は野菜類(施設栽培)登録。 3 ペネビアOD、アベイル粒剤、プリロソク粒剤オメガ、ベリマークSCの総使用回数は4剤合わせて4回以内。 4 ファインセーブフロアブルはタバココナジラミ類(シルバーリーフコナジラミを含む)適用。

P85 訂正前

ミニトマト

病害虫名	防除時期及び防除法	使用時期-本剤の使用回数	注意事項
コナジラミ類 (・タバコナジラミ ・オンツクナジラミ)	○育苗期～定植時 1 侵入防止のため0.4mm目の防虫ネットをハウスの開口部に設置する。 2 薬剤処理 スタークル粒剤 1g/株 アルバリン粒剤 育苗期:株元散布 1g/株 定植時:植穴土壌混和 2g/株 ベストガード粒剤 2g/株 育苗期:株元処理 2g/株 定植時:植穴処理土壌混和 2g/株 アベイル粒剤 2g/株 株元散布 ベリマークSC 25ml/株 400株当り10～20L灌注	育苗期-1 定植時-1 育苗期又は定植時-1 育苗期後半～定植当日-1 育苗期後半～定植当日-1	1 タバココナジラミ(バイオタイプQ)は薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避ける。 2 ペネビアOD、アベイル粒剤、ベリマークSCの総使用回数は、3剤合わせて4回以内。



P85 訂正後

ミニトマト

病害虫名	防除時期及び防除法	使用時期-本剤の使用回数	注意事項
コナジラミ類 (・タバコナジラミ ・オンツクナジラミ)	○育苗期～定植時 1 侵入防止のため0.4mm目の防虫ネットをハウスの開口部に設置する。 2 薬剤処理 スタークル粒剤 1g/株 アルバリン粒剤 育苗期:株元散布 1g/株 定植時:植穴土壌混和 2g/株 ベストガード粒剤 2g/株 育苗期:株元処理 2g/株 定植時:植穴処理土壌混和 2g/株 アベイル粒剤 2g/株 株元散布 ベリマークSC 25ml/400株 400株当り10～20L灌注	育苗期-1 定植時-1 育苗期又は定植時-1 育苗期後半～定植当日-1 育苗期後半～定植当日-1	1 タバココナジラミ(バイオタイプQ)は薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避ける。 2 ペネビアOD、アベイル粒剤、ベリマークSCの総使用回数は、3剤合わせて4回以内。

病害虫名	防除時期及び防除法	使用時期-本剤の使用回数	注意事項
萎凋病 根腐萎凋病 半身萎凋病	○は種、植付前 1 抵抗性台木、耐病性品種を用いる。 2 連作を避ける。水稲と輪作を行う。 3 資材消毒（資材消毒の頁参照） 4 土壌消毒（土壌消毒の頁参照） ○生育期 発病株は早期に抜き取り、適切に処分する。		
コナジラミ類 ・タバココナジラミ ・オシツコナジラミ	○育苗期～定植時 1 侵入防止のため0.4mm目の防虫ネットをハウスの開口部に設置する。 2 薬剤処理 スタークル粒剤 1g/株 アルバリン粒剤 1g/株 ベストガード粒剤 2g/株 アベイル粒剤 2g/株 プリロツソ粒剤オメガ 2g/株 ベリマークSC 25ml/400株 400株当り10～20L灌注 ○生育期 1 捕虫リボン、誘引捕殺粘着シート(黄色)を用いる。 2 施設内外の除草を徹底する。 3 薬剤散布 ベストガード水溶剤 2,000倍 スタークル顆粒水溶剤 3,000倍 アルバリン顆粒水溶剤 3,000倍 アニキ乳剤 2,000倍 コロマイト乳剤 1,500倍 アグリメック 1,000倍 クリアザールフロアブル 4,000倍 コルト顆粒水和剤 4,000倍 ディアナSC 2,500倍 ダブルシューターSE 1,000倍 ウララDF 2,000倍 ベネビアOD 2,000倍 グレーシア乳剤 2,000倍 ファインセーブフロアブル 2,000倍 粘着くん液剤 100倍 フーモン 1,000倍 サンクリスタル乳剤 300倍 サフオイル乳剤 300倍 4 天敵による防除 オンシツツヤコバチ剤 エンストリップ 1カート/25～30株 ツヤコバチEF30 80枚/10a	育苗期-1 定植時-1 育苗期又は定植時-1 育苗期後半～定植当日-1 育苗期後半～定植時-1 育苗期後半～定植当日-1 前-3 前-2 前-3 前-2 前-3 前-2 前-3 前-2 前-3 前-2 前-3 前-3 前-2 前-3 前-3 前-3 前-3 発生初期-- 発生初期--	1 タバココナジラミ(バイオタイプQ)は薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避ける。 2 エンストリップ、ツヤコバチEF30は野菜類(施設栽培)登録。 3 ベネビアOD、アベイル粒剤、プリロツソ粒剤オメガ、ベリマークSCの総使用回数は4剤合わせて4回以内。 4 ファインセーブフロアブルはタバココナジラミ類(シルバーリーフコナジラミを含む)適用。

ミニトマト

病害虫名	防除時期及び防除法	使用時期-本剤の使用回数	注意事項
うどんこ病	○発病初期 トリフミン乳剤 2,000倍 パンチョTF顆粒水和剤 2,000倍 ショウチノスケフロアブル 2,000倍 ハーモメイト水溶剤 1,000倍 サンクリスタル乳剤 600倍 ボトキラー水和剤 1,000倍 インプレッションクリア 2,000倍	前-5 前-2 前-2 前- 前- 発病前~発病初期- 発病前~発病初期-	トリフミン乳剤とパンチョTF顆粒水和剤の総使用回数は合わせて5回以内。
輪紋病	○植付前 資材消毒(資材消毒の頁参照) ○生育期 1 株元の病葉は早期にかき取り、持ち出して適切に処分する。 2 薬剤散布 Zポルドー 600倍 ダコニール1000 1,000倍	- - - 前-2	
斑点病 青枯病 根腐萎凋病 モザイク病 { ・T・MV ・CMV }	トマトに準ずる。		
コナジラミ類 { ・ハコナジラミ ・オシツコナジラミ }	○育苗期~定植時 1 侵入防止のため0.4mm目の防虫ネットをハウスの開口部に設置する。 2 薬剤処理 スタークル粒剤) 1g/株 アルバリン粒剤) 育苗期:株元散布 1g/株 定植時:植穴土壌混和 ベストガード粒剤 2g/株 育苗期:株元処理 アベイル粒剤 2g/株 定植時:植穴処理土壌混和 ベリマークSC 25ml/400株 400株当り10~20L灌注 ○生育期 1 捕虫リボン、誘引捕殺粘着シート(黄色)を用いる。 2 施設内外の除草を徹底する。 3 薬剤散布 ベストガード水溶剤 2,000倍 スタークル顆粒水溶剤) 3,000倍 アルバリン顆粒水溶剤) コロマイト乳剤 1,500倍 コルト顆粒水和剤 4,000倍 ディアナSC 2,500倍 ダブルシューターSE 1,000倍 ウララDF 2,000倍 ベネビアOD 2,000倍 グレーシア乳剤 2,000倍	育苗期-1 定植時-1 育苗期又は定植時-1 育苗期後半~定植当日-1 育苗期後半~定植当日-1 前-3 前-2 前-2 前-3 前-2 前-2 前-3 前-3 前-2	1 タバココナジラミ(バイオタイプQ)は薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避ける。 2 ベネビアOD、アベイル粒剤、ベリマークSCの総使用回数は、3剤合わせて4回以内。